

報告番号 甲第 914号

主論文の要旨

主論文題目

アワヨトウ *Leucania separata* Walker の
相変異に関する研究. とくに 幼虫体色
変異に対する内分泌および神経支配

氏名 小倉 信夫

頭、胸集了経表下が合幼体る腹前が二色る大化体
 し、頭。一神後道化集育合す離日み。黒いの黒合
 後、かはる体下皮食色の飼連植遊るのすはてうの連
 皮しです心道脱に黒前合体移き〜節二官ト色体
 脱。紫化側食と特く間集夕を合二経お器キヨ体夕
 とる。結色、はる、し時にラ節場皮神きのを虫ラ
 るすの黒脳、はる、し時にラ節場の皮神きのを虫ラ
 す化前にの黒脳、はる、し時にラ節場の皮神きのを虫ラ
 紫色間も虫あ摘弱で之離体下ずる食化れてせれ体
 結黒時と幼体にか出皮遊心道いす、色そしにら心
 でが、も令合前化摘脱の側食後化は黒、関れみ側
 方み、土部、連皮色の。虫、は皮色でのににに
 後のる腹育体脱黒節る幼脳、は脱黒植後う起い時脳
 部、部皮も飼夕をの経ま育のる、は移皮よ誘、生
 胸、胸脱部合ラ節皮神弱飼虫あと部の脱の化が、発は

および食道下神経節から放出さわ
 るあ起る種因の神によつてモソ一黒色化
 誘起キ単間部体と離体下皮なッ体ば關稟ア下
 時大の虫ニ遊心道表化が合素モ一(以
 びる要の独前介色場が腹一神のいておか子合ヲ連
 食種因であ育胸幼あにラ節色赤脳びでて育体
 道の神にア令後ハが胸黄合体移と色側道く令食記
 下神にア令後ハが胸黄合体移と色側道く令食記
 神経ホつてえ虫で皮黄が単育合す皮が体神色い虫下
 節ホルてえ虫で皮黄が単育合す皮が体神色い虫下
 かモソ一黒色化さわ
 放出黒ニ。ニるの飼化幼脳い脱の。夕黒形。側連合
 一おる。脱すそ独色育のる、層ラはの。一節集
 紫モ単褐飼虫あと胞ニア節素る脳経を
 結後色赤独幼体る細お一經色えの神個
 後色赤独幼体る細お一經色えの神個
 皮黄が単育合す皮が体神色い虫下
 考幼方脱部色飼連植真化心下赤と幼道す)
 と令後ハが胸黄合体移と色側道く令食記
 育胸幼あにラ節色赤脳びでて育体
 獨前介色場が腹一神のいておか子合ヲ連
 要の独前介色場が腹一神のいておか子合ヲ連
 起キ単間部体と離体下皮なッ体ば關稟ア下
 あ起る種因であ育胸幼あにラ節色赤脳びでて育体

離強い黒合幼のし黒低単集植部合二皮育へ移て黒飼
 遊強い連育体。はがはを移腹連おの飼虫の全に独
 のは強、飼虫るふ性い個に離のき面独幼へどる単
 虫ではし独全こ皮受るる部遊者ひ背単令虫んこ色
 幼者でか単モおの感あ体腹も前をの色ヲ幼とど褐
 令前者しばでが虫る育合離合、化虫褐育育ほる赤
 ヲ、後。れ場合化幼す飼連遊場が色幼赤飼飼後こ
 育とがいす場色育対合ののる黒令、独合皮とれ、
 飼るるな植の黒飼に巢虫虫れこいヲ育単集脱のさ
 独すこら移部い独因。幼幼ずお強育飼色、の片成
 単植おこに腹強単要る令令いかが飼合黄とまふ形
 は移がお量離もて超えヲヲ、化う合集はる宿皮が
 いへ化は多遊で誘い育育と色ほ集まいすは植素
 る部色化をの遊で化と飼飼る黒の片る植で移色
 あ腹黒色体虫場た色い独合すの体すふあ移植の色

移色単ど色、化の放いでが、い育類飼移ンな
 の色色ん色て黒らがてか、体て飼タ独をモら
 数黒黄と黒っのホ因れず、タし合ッ単官ルな
 半に、ほてが色ニ要さわ、ラ進集バに器ホは
 ぼかしはいた体、起出く。ア促。リヲよ含幼色に
 ほすかでおしては誘放ごるはを。タヨいをは体色
 はか、植に。いの化、がれで現。ワいをは体色
 でて。移片い。いの色か量う類発てへ同体い、
 植いるのふなにな黒いのえ、夕のれ虫と夕る淡
 移おれへ皮れ虫いらなと考ッ算ら幼駿ヲあも
 のにさ虫植さ幼てか、いもとバ形知、ウ臭ア、て
 へ片成幼移成育、組織てため、リのがトるの、し
 虫ふ形育の形飼ニ組れした、タ相とヨけ虫て射
 幼皮が飼ては独お、経さとる、ワ独、コワお幼し、注
 育植素独全素単が、神出たあ、孤、る、了に育植を、い、
 食道下神、經、節、の、黒、色、化、誘、起、要、因

は	80	%	エ	タ	ノ	一	ル	で	抽	出	で	き	粗
抽	出	物	中	の	そ	の	要	因	は	比	較	的	熱
安	定	で	あ	る	。	集	合	飼	育	幼	虫	の	胸
部	諸	神	經	節	の	100	°C	10	分	間	加	熱	後
磨	碎	物	を	集	合	飼	育	5	分	幼	虫	の	遊
腹	部	の	注	射	す	を	注	射	し	た	場	合	下
經	節	部	の	黒	色	化	色	化	お	こ	る	。	神
離	腹	節	に	は	黒	れ	る	。	誘	起	る	。	遊
神	の	の	思	わ	植	稟	験	の	こ	れ	い	。	の
も	き	の	移	植	稟	験	の	正	し	い	。	結	果
さ	さ	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	と	を
し	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	示
面	集	合	飼	育	5	令	幼	虫	の	頭	胸	部	の
皮	神	經	索	色	化	皮	前	に	切	断	す	と	腹
喉	後	の	黒	色	合	切	弱	ま	る	。	し	い	響
示	神	。經	縱	連	節	の	断	は	著	稟	い	。	食
喉	す	。經	神	經	合	を	移	植	わ	な	は	。	道
下	神	經	節	連	合	体	損	わ	移	植	道	。	縦
連	神	を	切	断	合	た	の	移	と	食	。	節	を
を	合	植	し	た	し	よ	腦	と	ま	強	触	。	去
ひ	移	お	二	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。

した幼虫でも集合飼育すると体色が
 が黒化する。とか、下ワヨトウの
 以上生の時に、は幼虫相、互以外、
 大なる機械的刺しよ、つて、自と、
 容器を刺激を放し、喉を刺すると考
 の要因を放し、喉を刺すると考
 神経節は環刺すると考
 神経がらを放し、喉を刺すると考
 要因を放し、喉を刺すると考
 黒化が、おこると考
 黒化が、おこると考